



爽 丘



明石台小 HP

富谷市明石台五丁目15-1 TEL 772-5307 FAX 772-5305

明石台小学校ホームページ <https://www.tomiya-city.miyagi.jp/kosodate/gakko/ichiran/es-akaishidai/>

前期終業式～ありがとうございました～

101日間の前期が終わりました。4月の始業式、入学式から始まって、運動会、志津川宿泊学習、修学旅行、校外学習、たてわり、お弁当会等々、たくさんの行事もありました。一つの行事を終える度に、子供たちの確かな成長を感じることができ、職員一同とてもうれしく思っています。たくさんのご理解・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

明日からの3連休も含め、計5日間の秋季休業となります。疲れを取り、気持ちを切り替えて後期に臨めるよう、有意義な5日間にしてもらえればと思います。10月15日(木)、また元気な子供たちと会えることを楽しみにしています。



明石台小PTAより

インクカートリッジ(純正)を
集めています！



ベルマーク収集へのご協力ありがとうございます。先日お知らせしました「Webベルマーク」の方も、明石台小を応援してくださる人数が増え、大変うれしく思っています。

学校の方では、引き続き、使い終わったインクカートリッジ(エプソンやCanonなど、純正のものに限る)をベルマークとして回収しております。今月末に、今年度分のカートリッジをベルマークとしてベルマーク教育助成財団へ送付する予定となっておりますので、もし、お手元に使用済みのインクカートリッジがありましたら、学校まで学校までお持ちいただければ幸いです。ご協力のほど、よろしくお願いします。

明石台小金管バンドより

アルミ缶を集めています！

明石台小金管バンドよりお知らせします。廃品回収の一環として、アルミ缶を集めています。**アルミの空き缶**を洗って乾かし、学校へ持ってきていただければ幸いです。空き缶は、**つぶさない**ようお願いします。

回収日:毎月第1週(1日の週)
場 所:明石台小昇降口(段ボール)
時 間:朝(始業前)

設置期間外でも受け付けています。その際は、金管担当または担任へ渡すようお声掛けください。



前期を振り返って

～本日の終業式で発表した
子供たちの作文を紹介します。～

ぜんきをふりかえって

一年二組 わだ あんず

わたしは、がっこうにゆうがくしてからいろいろなことができるようになりました。そのなかで、うれしかったことをしょうかします。

それは、たしざんとひきざんです。さいしよは、ゆびをつかってけいさんしていました。だから、なんどもなんども、いえでれんしゅうをしてできるようになりました。

はじめてゆびをつかわずにけいさんができるようになったことがとてもうれしかったです。

こうきも、がんばっていきたいとおもいます。



前きをふり返って

三年二組 木村 紗彩

わたしが、前きでがんばったことは、二つあります。

一つ目は、体育の、とびはこの学習です。私は、さいしよはとびばこがぜんぜんとべませんでした。一年生のときは、カラフルのとびばこの五だんまでとべたのに、二年生でとびばこを少ししかやっていなかったから、三年生では、三だんしかとべませんでした。でも、先生や、友だちが教えてくれたから、四だんや五だんのとびばこもとべるようになりました。そして、やっと、茶色のとびばこの五だんがとべるようになりました。さいしよは、とべないと思っていましたが、とべるようになったときは、すごくうれしかったです。

二つ目は金管バンドに入ったことです。二年生の、一月の終わりにいよいよにゆう部して、今、十月なので九ヶ月くらいやってきました。県大会に行ったとき、すごくしんぞうがバクバクしてました。そして、お客さんやしんさいいんさんに発表したとき、上手にできてるかな、ちゃんと形が見えてるかな、とずっと思っていました。でも、返ったら、お母さんが

「すごいね。がんばったね。」

と言ってくれました。私は東北大会も、練習のせいかをはつきでできるように次もがんばります。

後きは、学習発表会をがんばりたいです。金管バンドでの発表だったり、三年生の人々とリコーダーや合奏するのが楽しみです。リコーダーの発表ははじめてなので、まちがえないようにがんばります。前きはいろんなぎょうじがあつて、とても楽しかったです。後きもいろいろなちようせんしたいです。

前期をふり返って

五年一組 吉屋 凜

私が、前期を振り返って特に印象に残っていることは、つい先日の野外活動でのことです。その中でも、いかだを作り終え、いかだ遊びの時間になり、仲間といかだをこぐときに学んだことがあります。

「一、せーの！二、せーの！・・・」

とかけ声をかけるときのことです。誰が何番目に言うか事前に決めていました。しかし、自分の番のとき、かけ声をかけるのを四、五回ほど忘れてしまい、チームワークがくずれてしまったのです。みんなは一生けん命かけ声をかけているのに、自分だけ言うのを忘れているなんて、そのときはどん底に落ちてしまうような気分でした。同時に、こんなに小さなことでも、チームワークがくずれてしまうことには、とてもおどろきました。他にも自分が言わなかったせいで、自分以外の人もタイミングがつかめず、順番がみだれてしまったり、左右に曲がるのができて、こいでいると曲がる前の場所もどってきてしまったり・・・など、とても大変なことになってしまいました。無事にもどってこることができましたが、こいでいるときからずっと思っていたことがあります。一人でもやるべきことをやっていないと、みるみる全体がくずれていってしまうんだ、と。だからこそ、協力することがとても大切だということを学びました。その「協力」というのは、助け合い、相手のことを思いやり、心を合わせること。あらためてふり返ると、自分はそれを分かったつもりで過ごしていたのだろう、と気付くことができ、さらに成長することができたと思います。これからの活動も、「協力」の意味を忘れずにいつも心にとめ、行動していきたいです。